

Iターン就業による認定新規漁業者の誕生

1. 漁業協同組合JFしまね所属 Iターン漁業者（松江市）

神奈川県出身。釣りやサーフィンが趣味であったことから「海に関わる仕事がしたい」と漁師になることを決意し、H31年2月に松江市島根町へ家族で移住。

漁業経営体での産業体験・就業型研修（定置網+採介藻・釣り）を経て、沿岸自営漁業者として独立。現在、採介藻漁業、釣り漁業、水産加工業に従事。



2. 取組の経過及び概要

- (1) 松江市島根町の定置網漁業経営体での産業体験〔定住財団〕、就業型研修〔県〕を通じて漁労技術の習得と地域への溶け込みを実現し、**R4年4月に重点的支援対象「認定新規漁業者」に認定**
- (2) 関係機関（漁業協同組合、ふるさと島根定住財団、松江商工会議所、松江市、県〔県庁、地方機関、研究機関〕）が連携し、**地域への溶け込み、支援事業の活用、新規事業の提案、加工技術の高度化等をサポート**
- (3) 漁業経営のフェーズアップのために支援事業を活用して機器等整備を行い、**漁業種類の追加や水産加工への事業拡大を実現**
- (4) 漁協市場出荷と並行して**産直ECサイトや地元スーパーでも漁獲物（鮮魚介類、塩水ウニ等）を販売し、販売チャネルの多角化に挑戦**

漁船(4.94トンの取得)	水産加工(塩蔵ワカメ)
水産加工(ウニ・魚)	水産加工(ウニ・魚)
釣り(魚・イカ)	釣り(魚・イカ)
採介藻	採介藻

漁船(1.23トンの取得)

定置網

採介藻(素潜り漁)
定置網

漁労技術の習得や漁業機器等の整備のために各種支援事業を活用

定置網体験乗船会
(H30.5)

漁業法人3社訪問
(H30.3)

しまねUIターンフェア
(H29.11、H30.1)

神奈川県からIターン

産業体験事業
(H31.4~R2.3)

漁協准組員
(R2.4.2~)

就業型研修事業
(R2.4~R4.3)

漁協正組員
(R4.1.29~)

認定新規漁業者
(R4.4~R9.3)

~H30年

R元年

R2年

R3年

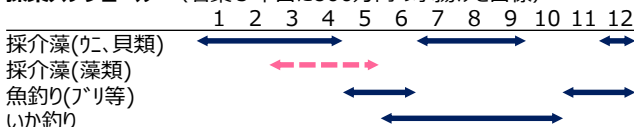
R4年

R5年~

3. 取組の成果

- (1) 沿岸自営漁業の漁業経営開始計画（5年後の目標水揚金額年間720万円以上）を作成し、**Iターン就業としては管内初の認定新規漁業者**
- (2) 地元で**低利用だったウニ（板ウニ、塩水ウニ）を主軸にした新たな漁業経営に着手**

操業スケジュール（着業5年目に800万円の水揚げを目標）



4. 課題と今後の取組方向

- (1) 磯根資源（ウニ、サザエ、アワビ等）は漁業権制度により漁場が地先に限定され、定着資源であることから**同じビジネスモデルの横展開は限定的**（漁場・資源のキャパシティの問題）
- (2) 釣りの対象種である回遊魚やイカ類は来遊の年変動が大きいいため、**漁法のバリエーションを多く持つことが重要**
- (3) R5年3月からは地元漁業者との協業化による**塩蔵ワカメ加工事業への新規参入を予定**（←県補助事業の活用）